

ルカ 2:1-18 (朗読)

説教 Lynne Higa 牧師

アメリカのクリスマスの伝統はプレゼントを贈ることです。🎁

クリスマスツリーの下にプレゼントを置く。12月25日のクリスマスにプレゼントを開けます。

サンタクロースが煙突から家に入り、暖炉の前飾りに干してある靴下におもちゃを入れて置いていくというお話があります。

クリスマスはプレゼントをする時です。

誰もがみんなにプレゼントをするのです。

しかしそれは、ある人にとっては経済的な負担となり、ある人にとっては精神的な負担となってしまいます。

この世界は、神が祝福のつもりで与えた出来事を、重荷の出来事に変えてしまいました。

しかし必要な贈り物はただひとつです。

誰の誕生日？

クリスマスはイエス様の誕生日🎂です。

私たちは誕生日を迎える方にプレゼントを贈ります。

あなたのプレゼントは何ですか？🎁💖

あなたはイエス様へのプレゼントを準備していますか？

どのように送りますか？ 郵便局？ 佐川？ ヤマト運輸？

天国に行く時、その時が私のプレゼントを渡す時なのでしょうか。

神様はその時までずっと待ち続けておられるのでしょうか？

天国に行くまで、あと何回誕生日があるんだろう。

積み重なった何年分もの誕生日プレゼントをたくさん携えて天国へ行く日まで！*o*

もし天国で渡すためのプレゼントを毎年分取っておいても、

私の遺体と一緒に埋められたら、土の中で朽ち果ててしまうだけでしょう。

そうではなくて ただひとつの方法があります。イエスは今それを受け取ることができるのです。何だと思う??

神様に何か素晴らしいものをあげたい！

イエス様にとって何か特別なものを！

金(ゴールド)? 円? ドル?

ただ一つあなたが神様に際上げることが出来るもの、贈るべきものは、あなた、

そのあなたの心を今神様は喜んでお受けになります。天国まで待たなくてもよいのです。

物ではなくて私たちの心、それを天に捧げることが出来、

神は今日、今それを私たちからお受けになることができるのです。

私たちの神様へのプレゼントとは？

「それで、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るならば、あなたがたはすべての民にまさって、わたしの宝となるであろう。」-出エジプト記 19:5

あなたは、自分が神にとって特別な宝であることを理解しておられますか？

神の御声に従うすべての人は、神にとって特別な宝なのです。

あなたは特別な宝を神にプレゼントすることができますか？

まず初めに自分自身。

そしてあなたのみならず他の誰かも？ 神様の宝となる弟子をさらに作りましょう！

天使はすべての人に喜びの知らせ、「グッドニュース」を伝えました。

私たちには救い主がいます。

私たちを神から引き離す罪から救ってくださるのです（イザヤ 59:2）。

今、すべての人が引き離されず、神とともにいることができるのです。

ユダヤ人だけではない。完全な人々だけではない。すべての人です。

なぜなら、イエスは不完全な人々を赦してくださるからです。

そして、神の国は今、私たちの上にある。

「神の国は、実にあなたがたのただ中にあるのだ」ルカ 17:21。

私たちがイエスを主とした瞬間、私たちは次のように生き始める。

片足は地上に、もう片足は天に立脚して。

私たちは神に力を与えられた人生を生きるのです。

神は私たちを見ておられます。

神は私たちと共におられます。

神は私たちを助けてくださいます。

時には自然に、またある時には超自然的に。

これが羊飼いたちが皆に伝えた良い知らせです。そしてこれこそ、私たちが今日伝えることのできる福音(良い知らせ)なのです。

誰かに福音を伝えるのは難しいですか？

私はあなたを助ける方法を知っています。

とても簡単です。

費用は掛かりません。

私たちのイベントに誰かを連れてきてください。*o*

祈るだけでは十分ではありません。神様の促しに従って行動するところに宝があります。

でも、どうすればいいんだろう？

... あなたは彼らを弟子にしなければなりません。

あなたのお友達と共に時を過ごし、一緒に神の言葉を読み、励まし、アライアンス教会にお連れするのです。

そう、私たちのクリスマスのイベントにはたくさんの忙しい仕事がありますが、それは私たち宣教師のための働きではなく、イエス様へのあなたの贈り物なのです^o^....

人々は次のことを知ったらとても喜ぶでしょう。

天国はユダヤ人や完璧な人のためだけのものではありません、立派な人たちだけでなく、誰もが天国に入ることができるのです。

そこには、

もう悲しみはない、

涙もない

黙示録 21:4 人の目から涙を全くぬぐいにとって下さる。もはや、死もなく、悲しみも、叫びも、痛みもない。先のものが、すでに過ぎ去ったからである」。

天国には飢えや栄養失調はない

黙示録 7:14 わたしは彼に答えた、「わたしの主よ、それはあなたをご存じです」。すると、彼はわたしに言った、「彼らは大きな患難をとおってきた人たちであって、その衣を小羊の血で洗い、それを白くしたのである。15 それだから彼らは、神の御座の前におり、昼も夜もその聖所で神に仕えているのである。御座にいますかたは、彼らの上に幕屋を張って共に住まわれるであろう。16 彼らは、もはや飢えることがなく、かわくこともない。太陽も炎暑も、彼らを侵すことはない。17 御座の正面にいます小羊は彼らの牧者となって、いのちの水の泉に導いて下さるであろう。また神は、彼らの目から涙をことごとくぬぐいにとって下さるであろう」。

天には金の街道

水晶の川

黙示録 21:21 十二の門は十二の真珠であり、門はそれぞれ一つの真珠で造られ、都の大通りは、すきとおったガラスのような純金であった。

21:22 わたしは、この都の中には聖所を見なかった。全能者にして主なる神と小羊とが、その聖所なのである。

21:23 都は、日や月がそれを照す必要がない。神の栄光が都を明るくし、小羊が都のあかりだからである。

私たちに新しい栄光の体が与えられます。

3:20 しかし、わたしたちの国籍は天にある。そこから、救主、主イエス・キリストのこられるのを、わたしたちは待ち望んでいる。21 彼は、万物をご自身に従わせうる力の働きによって、わたしたちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じかたちに変えて下さるであろう。

そしてイエス様が用意してくださった大邸宅に住むのです！

ヨハネ 14:2 わたしの父の家には、すまいがたくさんある。もしなかったならば、わたしはそう言っておいたであろう。あなたがたのために、場所を用意しに行くのだから。

3 そして、行って、場所の用意ができたならば、またきて、あなたがたをわたしのところに迎えよう。わたしのおる所にあなたがたもおらせるためである。

(なぜ天国に家が必要なのか？)

やるべきことがあり、行くべき場所があるからです。

天国は現実の生活です。

夢ではないのです。

天国は、今見ているものよりももっと具体的なものになると私は信じています。

私たちは天国からこの世を思い返すかもしれませんが、それは天国では逆に私たちが今思う夢のように儂いものと思えるでしょう。

天で食べたり飲んだりする

マタイ 26:29 あなたがたに言うておく。わたしの父の国でああなたがたと共に、新しく飲むその日までは、わたしは今後決して、ぶどうの実から造ったものを飲むことをしない」。

天国では主に仕えます。

黙示録 22:3 のろわるべきものは、もはや何ひとつない。神と小羊との御座は都の中にあり、その僕たちは彼を礼拝し、4 御顔を仰ぎ見るのである。彼らの額には、御名がしるされている。5 夜は、もはやない。あかりも太陽の光も、いらぬ。主なる神が彼らを照し、そして、彼らは世々限りなく支配する。

調和と平和がある

イザヤ 11:5 正義はその腰の帯となり、忠信はその身の帯となる。

11:6 おおかみは小羊と共にやどり、ひょうは子やぎと共に伏し、子牛、若じし、肥えたる家畜は共にいて、小さいわらべに導かれ、

11:7 雌牛と熊とは食物を共にし、牛の子と熊の子と共に伏し、ししは牛のようにわらを食い、

11:8 乳のみ子は毒蛇のほらに戯れ、乳離れの子は手をまむしの穴に入れる。

11:9 彼らはわが聖なる山のどこにおいても、そこなうことなく、やぶることがない。水が海をおおっているように、主を知る知識が地に満ちるからである。

都の大通りは、すきとおったガラスのような純金

黙示録 21:21 十二の門は十二の真珠であり、門はそれぞれ一つの真珠で造られ、都の大通りは、すきとおったガラスのような純金であった。22 わたしは、この都の中には聖所を見なかった。全能者にして主なる神と小羊とが、その聖所なのである。

そういう素晴らしい世界の中を私たちは日々出入りするのです

喜びをもって平和のうちに出入りするのです

主を礼拝するために。

天国の天使たちとともに主を礼拝するために。

1時間だけではない、2時間どころか 90 年をはるかに超えて、

それは

永遠に！

天国は喜びと歓喜の時となるのです！

私たちの神は生きている者の神なのです。

マタイ 22:29 イエスは答えて言われた、「あなたがたは聖書も神の力も知らないから、思い違いをしている。

22:30 復活の時には、彼らはめとったり、とついだりすることはない。彼らは天にいる御使のようものである。

22:31 また、死人の復活については、神があなたがたに言われた言葉を読んだことがないのか。

22:32 『わたしはアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である』と書いてある。神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神である」。

天国では主に仕えます。

黙示録 22:3 のろむべきものは、もはや何ひとつない。神と小羊との御座は都の中にあり、その僕たちは彼を礼拝し、4 御顔を仰ぎ見るのである。彼らの額には、御名がしるされている。5 夜は、もはやない。あかりも太陽の光も、いらぬ。主なる神が彼らを照し、そして、彼らは世々限りなく支配する。

死は永遠のいのちの始まり

ヨハネ 11:25 イエスは彼女に言われた、「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。

マタイ 9:24 「あちらへ行っていなさい。少女は死んだのではない。眠っているだけである」。すると人々はイエスをあざ笑った。25 しかし、群衆を外へ出したのち、イエスは内へは行って、少女の手をお取りになると、少女は起きあがった。

ヨハネ 11:11 それからまた、彼らに言われた、「わたしたちの友ラザロが眠っている。わたしは彼を起しに行く」。

ですから、上にあるものに心を向けましょう！

ローマ 8:5 なぜなら、肉に従う者は肉のことを思い、霊に従う者は霊のことを思うからである。

6 肉の思いは死であるが、霊の思いは、いのちと平安とである。

ガラテヤ 6:8 すなわち、自分の肉にまかす者は、肉から滅びを刈り取り、霊にまかす者は、霊から永遠のいのちを刈り取るであろう。

9 わたしたちは、善を行うことに、うみ疲れてはならない。たゆまないでいると、時が来れば刈り取るようになる。

福音を宣べ伝え、主の弟子を迎えましょう。

今年の誕生日には、イエス様に特別な宝物をプレゼントしましょう！

これは良い知らせです。

私が出会うすべての人に伝えずにはられない良い知らせです！

私は 1987 年、イエスは私の罪の罰を贖うために十字架で死なれたと聞いて、イエス様を主であり救い主として受け入れました。

イエスが私に対して示してくださった愛に、私は抗うことができませんでした。

私は大学での聖書研究クラブでエレミヤ 29:11 を学んでから、イエス様に従うようになりました。

エレミヤ 29:11 主は言われる、わたしがあなたがたに対してにしている計画はわたしが知っている。それは災を与えようというのではなく、平安を与えようとするものであり、あなたがたに将来を与え、希望を与えようとするものである。

自分の計画は不確かなものばかりだと思っていましたが、神の計画には私を繁栄させることが保証されていました。

その時、私は自分の人生に対する考えをすべて捨てました。

その後、マタイ 28:19 を読み、私は弟子を作っていないことを知りました。そこで私は伝道に志願しました。

マタイ 28:19 それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し、20 あなたがたに命じておいたいっさいのを守るように教えよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」。

第 1 回小旅行チーム

第 2 回 土曜日伝道チーム

第 3 回 1 年伝道チーム

牧師になりたくなかったのは、私は未婚だったので、結婚が難しくなると思ったからです^o^。

でも、教会から毎週日曜日の説教を頼まれ、牧師と呼ばれるようになりました。

だから、アッセンブリーズ・オブ・ゴッドの牧師資格 1 級に合格するために勉強しなければなりませんでした。

でも、牧師と呼ばれる資格は一番ないと思っています。

「...しかし、神は資格のある者を召されるのではなく、召された者に資格を与えられるのだ。」

(私はあなたを励ますためにこうお話しします、

神があなたを呼んでいると感じるなら

神があなたを呼んでおられると感じるなら、たとえあなたが信仰に踏み出すのに十分でないと感じても、あるいは資格がないと感じても、神があなたを用いてくださるようにと、ただお任せしましょう。

神はあなたを通して輝かしいことをしてくださるでしょう。)

2021年、私は神様が庄原にご自身の教会を設立するために私を呼んでいると感じました。2022年、牧師と共に私は庄原にたどり着きました。

今年、佐々木夫妻が庄原に神のための教会を建てるために来てくださり、ご一緒してくださることを心から感謝しています。